

朝霞駅南口駅前通りに関するアンケート
調査結果報告書

埼玉大学大学院理工学研究科 2 年鷹箸勝成

1. 目的

朝霞駅南口駅前通りについて広くご意見を収集し,今後の整備に活かしていくこと.

2. 実施日時

2022年11月6日(日)アサカストリートテラス開催時 10:00~17:00

3. 実施場所

朝霞駅西口富士見通線沿い,ASAKA B.B.SQUARE 横

4. 調査対象

アサカストリートテラス来訪者

5. 調査方法

紙アンケートにてその場で回答,収集

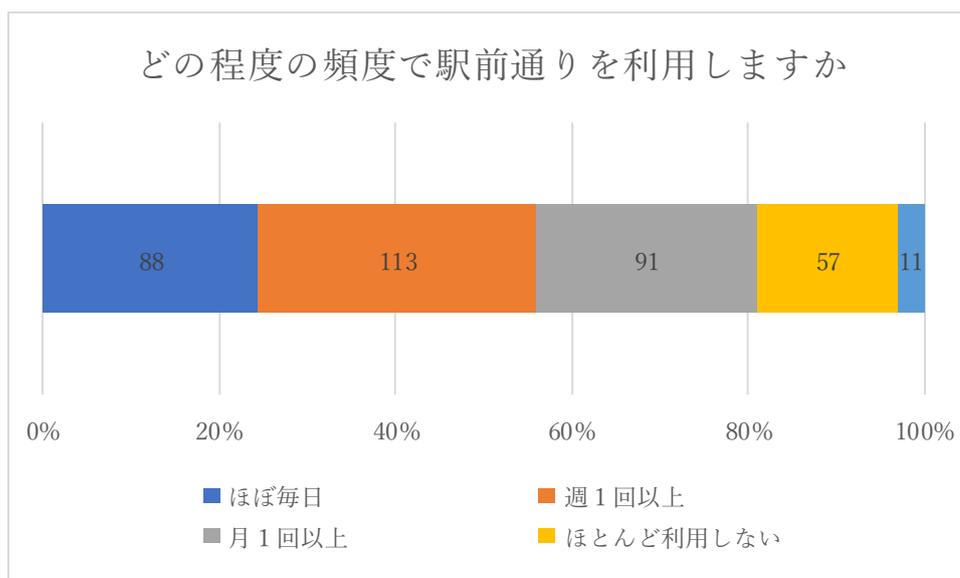
6. 回収状況

回収数:361(内 白紙・無効 ~Q5:1,Q6~:14)

有効回答数~Q5:360,Q6~:347

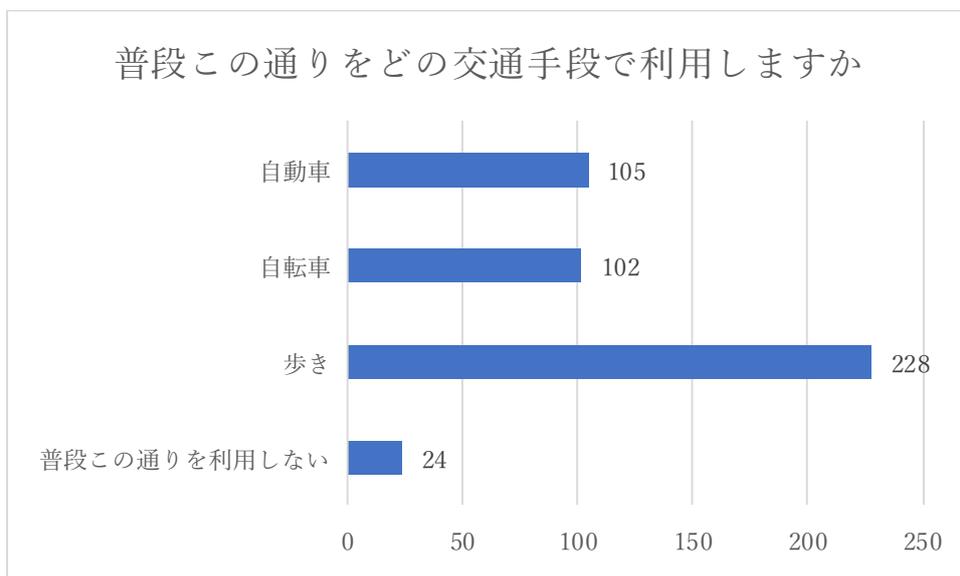
7. 調査結果

Q1 どの程度の頻度で駅前通りを利用しますか



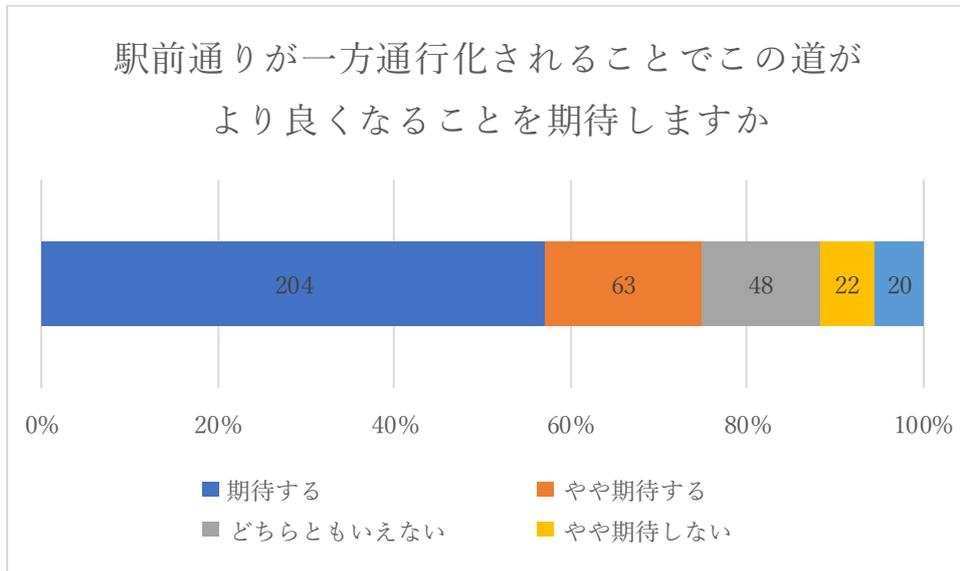
月1回以上通行する人が80%以上と,アサカストリートテラス開催時のみならず定期的に通行する人の意見を多く収集することができた。

Q2 普段この通りをどの交通手段で利用しますか(複数回答可)



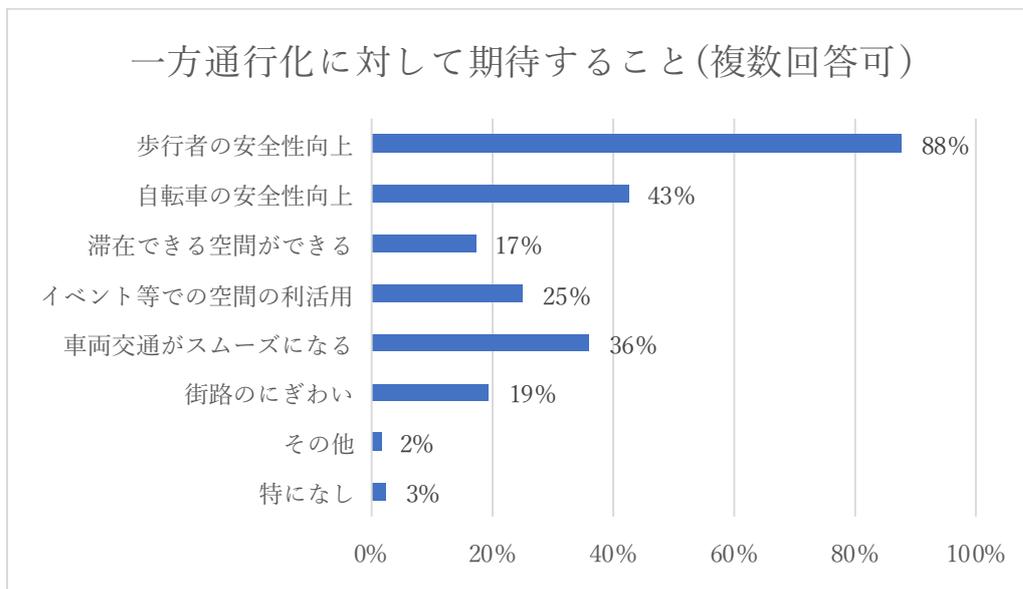
普段この通りを歩きで通行することがある人の意見を多く収集することができた。

Q3-1 駅前通りが一方通行化されることでこの道がより良くなることを期待しますか



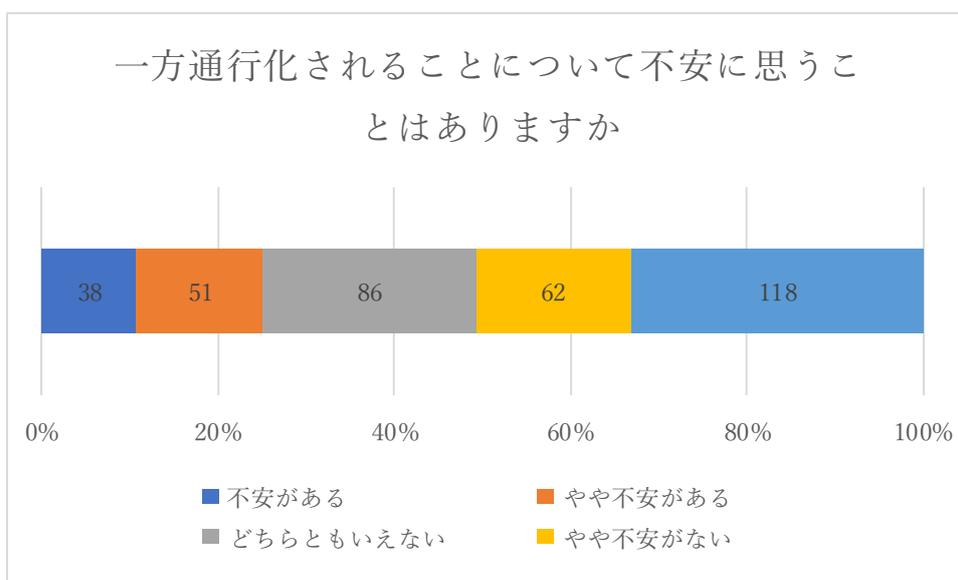
「期待する」と「やや期待する」と回答した人が約75%なのに対し、「期待しない」と「やや期待しない」と回答した人が約11%であることから、多くの通行者が朝霞駅南口駅前通りの一方通行化に対し、期待を抱いていることが示された。

Q3-2 一方通行化に対して期待すること(複数回答可)



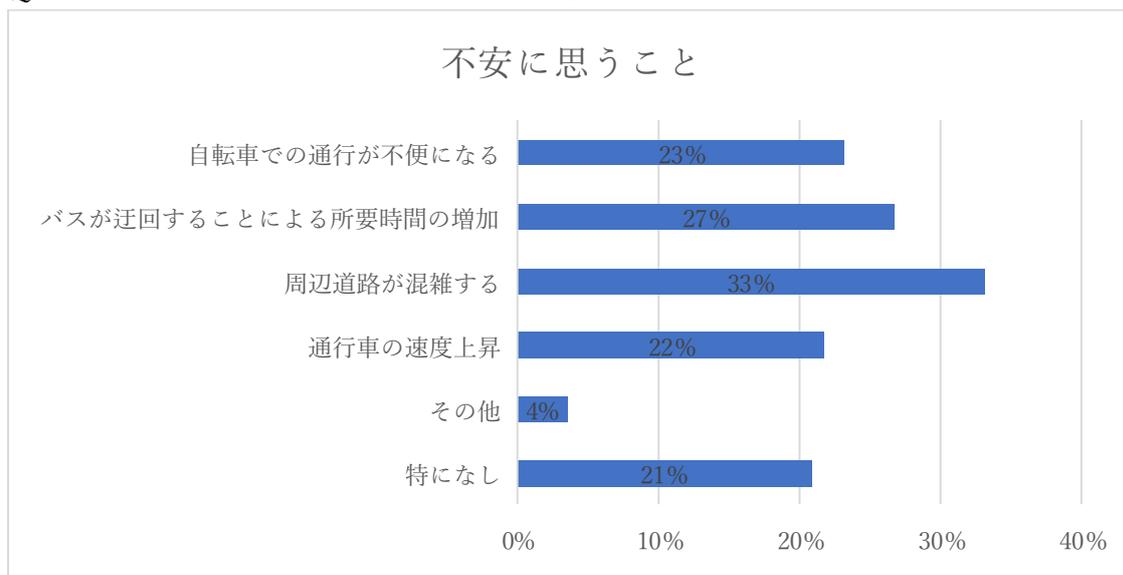
「駅前通りが一方通行化されることでこの道がより良くなることを期待しますか」に対し、「期待する」と「やや期待する」と回答した人の割合の合計より、「歩行者の安全性向上」に対して期待すると回答した人の割合の合計の方が高いことから、多くの通行者が現在の歩行者の安全性に不安を抱いていると考えられる。また、「歩行者の安全性向上」、「自転車の安全性向上」、「車両交通がスムーズになる」、「イベント等での空間の利活用」、「街路のにぎわい」、「滞在できる空間ができる」の順で選択率が高かったことから、通行者は将来的な道路の通行以外での利活用よりも通行の利便性に期待が大きいことがわかる。

Q4-1 一方通行化されることについて不安に思うことはありますか



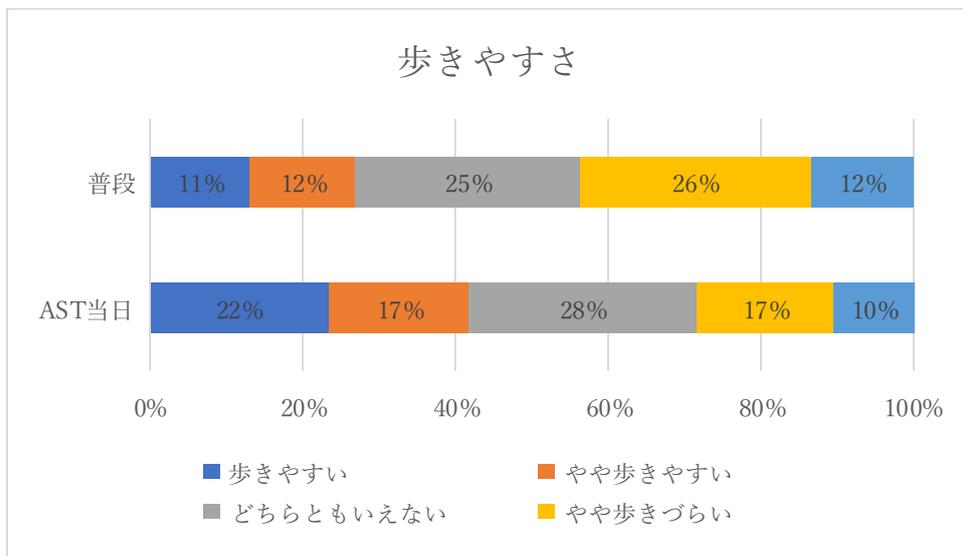
「不安がある」と「やや不安がある」と回答した人が約 26%なのに対し、「不安がない」と「やや不安がない」と回答した人が約 51%であること、また Q3-1 の結果より多くの通行者が朝霞駅南口駅前通りの一方通行化に対し、不安よりも現状よりも良くなるという期待を抱いていることがわかるとともに、現状の朝霞駅南口駅前通りが通行をするうえで問題を抱えていることが示された。

Q4-2 一方通行化に対して不安に思うこと(複数回答可)



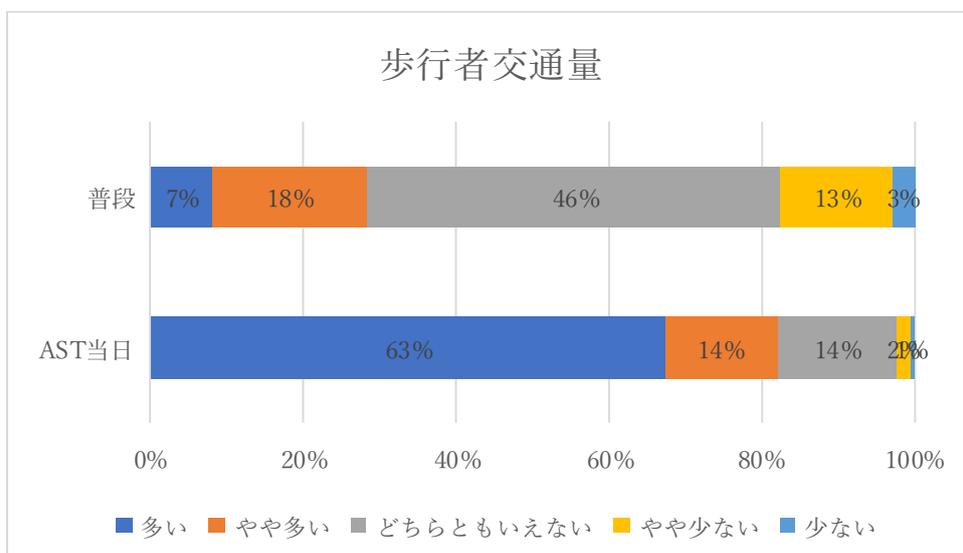
「バスが迂回することによる所要時間の増加」及び「周辺街路が混雑する」の2つが選択割合上位2つであるため、迂回交通に対する不安が相対的に多いことがわかる。また、Q3-2の通り期待することが「特になし」と回答している人の割合が約3%であるのに対し、不安に思うことが「特になし」と回答している人の割合が約21%であるため、朝霞駅南口駅前通りの一方通行化に対する通行者の期待が見て取れる。

Q6 路面の歩きやすさ



「歩きやすい」及び「やや歩きやすい」と回答した人の割合が「普段」に比べ「AST当日」では増加しているため、通行者が歩きやすさを実感していることが示された。

Q7 歩行者交通量



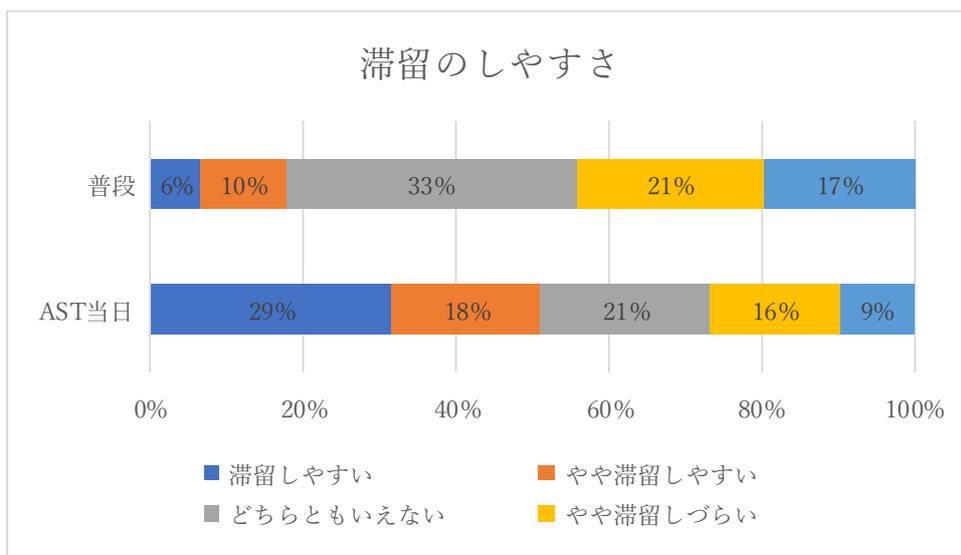
以下に、AST 当日及び翌日から 1 週間の歩行者数を示す。実際の計測値通り通行者にとっても歩行者通行量が多くなっていることが実感できていることが示された。

11/6(日)AST 当日	21304 人
11/7(月)	2282 人
11/8(火)	2192 人
11/9(水)	2248 人
11/10(木)	2240 人
11/11(金)	2378 人
11/12(土)	2640 人
11/13(日)	2070 人

なお、歩行者数は以下の図の位置で計測した。観測時間は各日 10:00~17:00 とした。



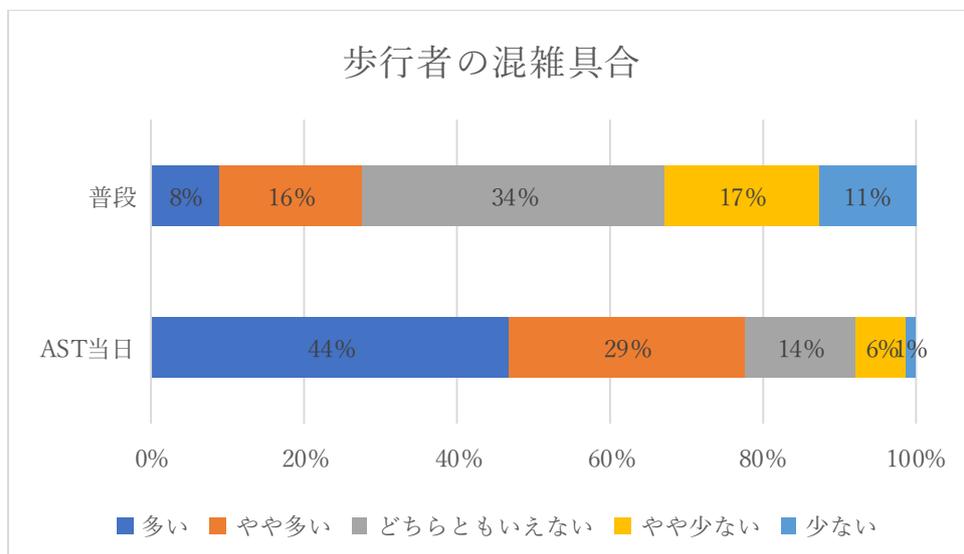
Q8 滞留しやすさ



滞留行動の発生には飲食店やカフェなど建物 1 階の用途の多様性が重要である。歩道の広がり以上に歩行者通行量は増加したが、AST 当日では軒先の出店及びキッチンカーの出店

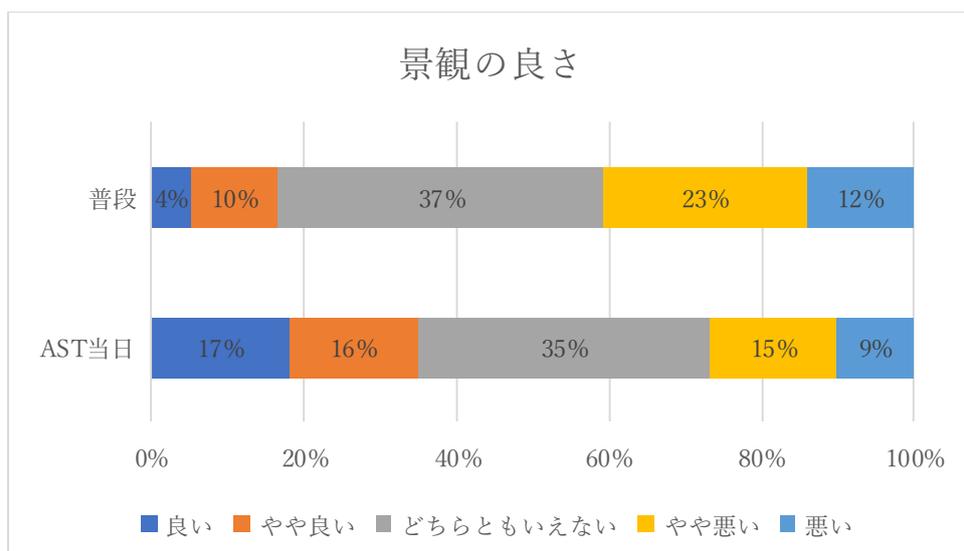
や、ところどころ椅子や机などが設置された影響もあり普段に比べ滞留をしやすいと感じるようになっていると考えられる。

Q9 通行する上でのほかの歩行者との接触(歩行者の混雑具合)



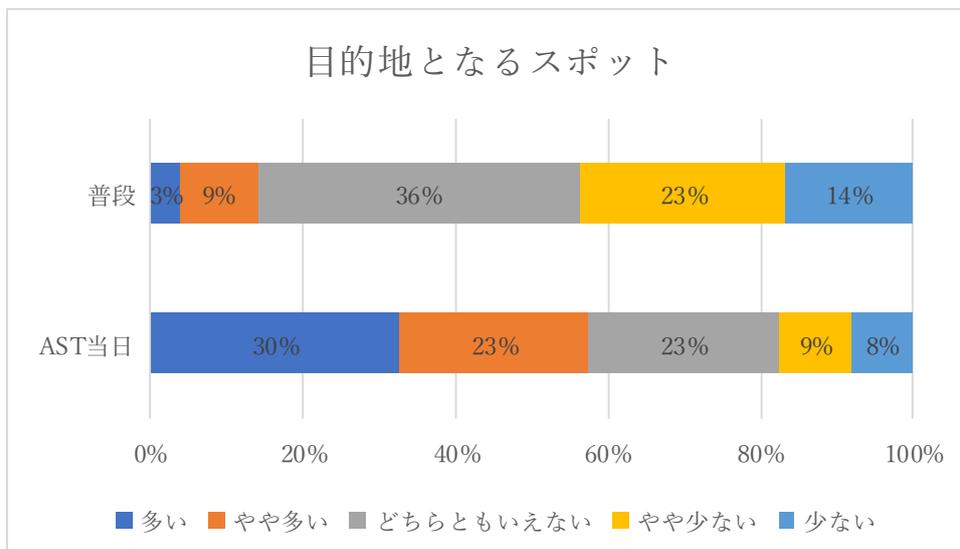
Q7 で示したように、歩行者数が大幅に増加した影響により普段に比べて非常に混雑していると感じていることが示された。

Q10 景観の良さ



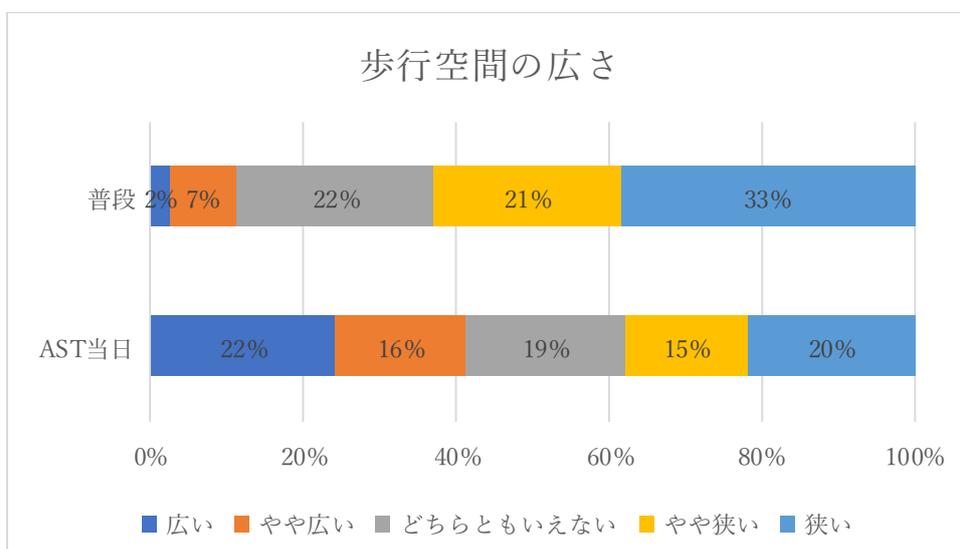
普段に比べてAST当日では通りの景観が良くなっていると感じられていることが示された。これは通りのにぎわいや歩行者中心の空間となったことが寄与していると考えられる。

Q11 魅力的な店舗など、目的地となるスポット



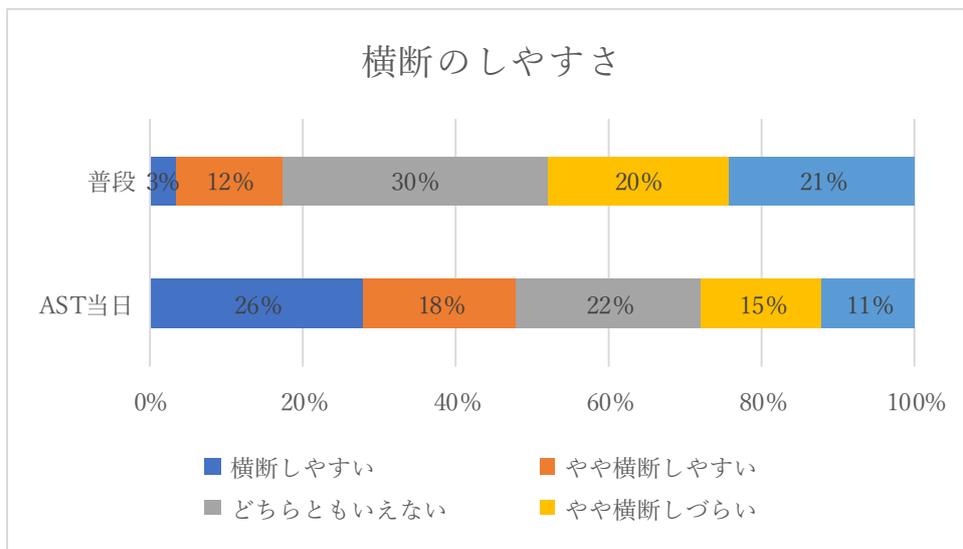
普段に比べて AST 当日では目的地となるスポットが多いと感じる通行者は多くなったことが示された。一方、普段に関していかに目的地となるスポットが不足しているかが示され、通りのにぎわいのために改善が必要な点であることが明らかであると示された。

Q12 歩行空間の広さ



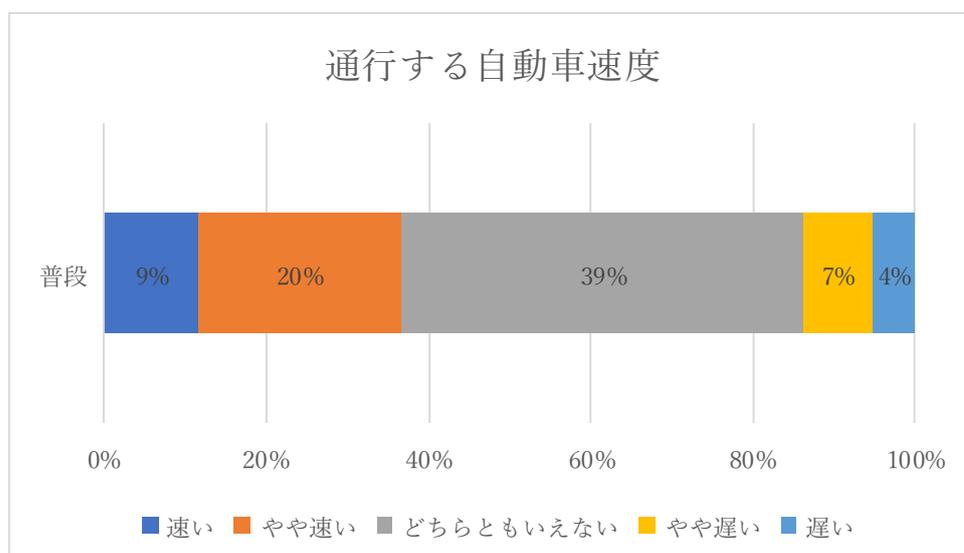
普段に比べて AST 当日では当然ではあるが多いと感じる通行者は多くなったことが示された。一方、普段に関していかに通行者に狭いと感じられているかが示された。

Q13 横断のしやすさ



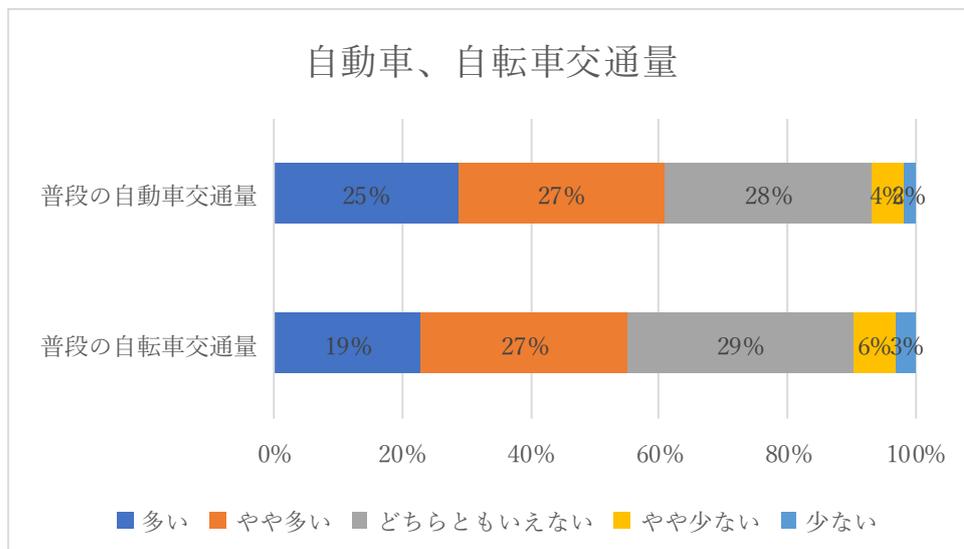
歩行者天国となったことで車を気にしなくてよくなり、横断しやすいと感じる人が増加した。一方、通行者が大幅に増加したため、横断しづらいと感じる人も一定程度残った。

Q14 通行する自動車の速度



「どちらともいえない」という回答の割合が速い傾向や遅い傾向を感じる人よりも多いことから走行する自動車の速度が通行者の意識にそれほど影響を与えていないと示された。

Q15,16 自動車、自転車交通量



自動車、自転車ともに交通量はどちらかといえば多いと思われていることが示された。

以下に AST 翌日から 1 週間の自転車数を示す。

11/7(月)	610 台
11/8(火)	599 台
11/9(水)	604 台
11/10(木)	629 台
11/11(金)	647 台
11/12(土)	711 台
11/13(日)	577 台

なお、自転車通行量の調査断面は Q7 で示した歩行者交通量の観測時間、調査断面ともに同様である。